



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場会社名 株式会社 中央倉庫
コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 康平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 廣次

TEL 075-313-6151

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,896	7.9	582	△5.1	665	2.4	352	△8.3
22年3月期第2四半期	10,095	△18.0	613	△24.9	649	△26.5	384	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	19.61	—
22年3月期第2四半期	22.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第2四半期	37,115	—	30,059	—	80.6	1,663.81
22年3月期	38,204	—	30,404	—	79.3	1,683.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 29,930百万円 22年3月期 30,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	22.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	6.8	1,250	5.5	1,300	4.6	760	5.6	42.25

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 19,064,897株 22年3月期 19,064,897株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,075,728株 22年3月期 1,075,355株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 17,989,394株 22年3月期2Q 17,291,794株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しつつあるものの、期後半からの急激な円高の影響もあり、輸出や生産の増加ペースが鈍化していることなどから、景気改善の動きが弱まってきており、依然として厳しい状況が続きました。

物流業界におきましては、国際貨物の取扱数量は大幅に伸び、国内貨物輸送の特積み輸送量は増加しました。一方、倉庫業においては、入出庫高は増加しましたが保管残高は低迷しました。また、競争激化の状況は引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は10,896百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は582百万円（前年同期比5.1%減）、経常利益は665百万円（前年同期比2.4%増）、四半期純利益は352百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

（セグメント別の概況）

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し増加しましたが、保管残高は減少しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は2,410百万円、セグメント利益は171百万円となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は出庫高の増加等に伴い、前年同期に比し増加しました。これらの結果、運送業の営業収益は5,701百万円、セグメント利益は471百万円となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業、梱包業ともに取扱数量は前年同期に比し増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は2,826百万円、セグメント利益は238百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,088百万円減の37,115百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が170百万円増加しましたが、固定資産の建物及び構築物が430百万円、投資有価証券が761百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ743百万円減の7,056百万円となりました。これは主に、流動負債の未払法人税等が247百万円、固定負債の長期借入金が221百万円及び繰延税金負債が273百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ344百万円減の30,059百万円となりました。これは主に、利益剰余金が125百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が473百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ、1.3ポイント増の80.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動におけるキャッシュ・フローで843百万円の増加、投資活動におけるキャッシュ・フローで187百万円の減少、財務活動におけるキャッシュ・フローで485百万円の減少となり、当第2四半期連結会計期間末には4,752百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、843百万円と前年同期と比べ391百万円（31.7%）の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、187百万円と前年同期と比べ1,507百万円（88.9%）の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、主に、長期借入金の返済及び配当金の支払いによるものであり、485百万円と前年同期と比べ689百万円（-%）の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、日本経済は海外経済の減速や、耐久消費財に関する政策効果の反動に加えて、円高による輸出や国内生産の一時的減少等から景気改善テンポが鈍化する可能性もあるものと予想されますが、現時点においては、平成22年5月19日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法（建物については租税特別措置法に規定する割増償却を含む）を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

2) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応指針第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,752,730	4,582,422
受取手形及び営業未収入金	3,079,060	3,091,546
貯蔵品	12,645	12,069
繰延税金資産	115,462	153,379
その他	446,951	417,611
貸倒引当金	△13,811	△13,587
流動資産合計	8,393,038	8,243,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,078,943	13,509,501
機械装置及び運搬具(純額)	757,178	751,715
土地	9,666,300	9,666,300
リース資産(純額)	34,508	40,096
その他(純額)	134,684	130,428
有形固定資産合計	23,671,615	24,098,041
無形固定資産	35,562	37,724
投資その他の資産		
投資有価証券	4,696,152	5,457,204
繰延税金資産	7,672	9,236
その他	318,517	358,950
貸倒引当金	△6,848	△234
投資その他の資産合計	5,015,494	5,825,156
固定資産合計	28,722,671	29,960,922
資産合計	37,115,710	38,204,364

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,162,293	1,180,965
短期借入金	3,310,000	3,310,000
1年内返済予定の長期借入金	809,900	844,100
リース債務	11,734	11,734
未払法人税等	245,791	492,991
賞与引当金	198,600	229,100
役員賞与引当金	8,300	20,000
その他	400,116	300,726
流動負債合計	6,146,735	6,389,617
固定負債		
長期借入金	546,800	767,800
リース債務	24,499	30,366
繰延税金負債	153,060	426,478
退職給付引当金	66,412	63,055
負ののれん	4,061	5,685
その他	114,711	116,951
固定負債合計	909,546	1,410,338
負債合計	7,056,281	7,799,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	25,774,451	25,648,948
自己株式	△930,720	△930,494
株主資本合計	29,841,833	29,716,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,358	567,835
為替換算調整勘定	△5,591	△5,314
評価・換算差額等合計	88,767	562,521
少数株主持分	128,827	125,332
純資産合計	30,059,428	30,404,408
負債純資産合計	37,115,710	38,204,364

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収益	10,095,585	10,896,920
営業原価	9,158,727	9,997,425
営業総利益	936,858	899,494
販売費及び一般管理費	323,765	317,385
営業利益	613,092	582,109
営業外収益		
受取利息	2,382	651
受取配当金	53,564	59,572
受取家賃	5,811	—
社宅使用料	—	5,686
負ののれん償却額	1,624	1,624
持分法による投資利益	—	8,471
その他	13,121	39,396
営業外収益合計	76,503	115,402
営業外費用		
支払利息	34,601	30,548
持分法による投資損失	2,066	—
その他	3,088	1,348
営業外費用合計	39,756	31,896
経常利益	649,839	665,615
特別利益		
固定資産売却益	16,396	2,912
投資有価証券売却益	2,982	2,492
貸倒引当金戻入額	87	—
特別利益合計	19,467	5,404
特別損失		
固定資産除却損	942	802
固定資産売却損	1,544	—
投資有価証券評価損	—	63,043
特別損失合計	2,487	63,845
税金等調整前四半期純利益	666,819	607,174
法人税、住民税及び事業税	344,911	215,331
法人税等調整額	△66,992	34,878
法人税等合計	277,919	250,209
少数株主損益調整前四半期純利益	—	356,964
少数株主利益	4,213	4,224
四半期純利益	384,687	352,740

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	666,819	607,174
減価償却費	582,567	631,804
負ののれん償却額	△1,624	△1,624
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△87	6,837
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,700	△30,500
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,300	△11,700
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,856	3,356
受取利息及び受取配当金	△55,947	△60,224
支払利息	34,601	30,548
持分法による投資損益 (△は益)	2,066	△8,471
為替差損益 (△は益)	9	297
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	63,043
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,982	△2,492
固定資産除却損	942	802
固定資産売却損益 (△は益)	△14,852	△2,912
営業債権の増減額 (△は増加)	△71,589	12,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,379	△575
その他の資産の増減額 (△は増加)	△43,264	△24,537
営業債務の増減額 (△は減少)	93,990	△18,671
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,946	77,792
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,457	△8,784
小計	1,141,924	1,263,649
利息及び配当金の受取額	59,017	63,381
利息の支払額	△36,509	△29,888
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	70,488	△453,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,234,921	843,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
定期預金の払戻による収入	400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,713,597	△190,007
有形固定資産の売却による収入	40,205	7,050
投資有価証券の取得による支出	△223,927	△42,900
投資有価証券の売却による収入	3,967	4,492
子会社出資金の取得による支出	△4,558	—
子会社の清算による収入	—	26,505
その他	3,235	7,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,694,675	△187,317

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	950,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△438,100	△455,200
リース債務の返済による支出	△5,218	△5,867
自己株式の増減額 (△は増加)	△129,264	△225
配当金の支払額	△172,829	△223,638
少数株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,831	△485,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,931	170,308
現金及び現金同等物の期首残高	4,326,492	4,582,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,070,560	4,752,730

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取 扱業(千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	2,584,595	5,409,801	2,101,189	10,095,585	—	10,095,585
(2) セグメント間の内部営業収 益又は振替高	19,953	16,455	—	36,409	△36,409	—
計	2,604,549	5,426,256	2,101,189	10,131,995	△36,409	10,095,585
営業利益	343,063	459,443	117,498	920,005	△306,913	613,092

(注) 1. 事業区分は営業収益の集計区分によっております。

2. 各事業の主な業務は以下のとおりであります。

倉庫業 : 倉庫、賃貸等

運送業 : 貨物利用運送、貨物自動車運送

国際貨物取扱業 : 梱包、通関等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、倉庫業、賃貸業、運送業、梱包業、通関業等の事業活動を展開しており、事業の種類、性質に応じて、「倉庫業」、「運送業」及び「国際貨物取扱業」の3つを報告セグメントとしております。

「倉庫業」は、倉庫業及び賃貸業を行っております。

「運送業」は、貨物利用運送事業、貨物自動車運送事業及び保険代理店業を行っております。

「国際貨物取扱業」は、梱包業及び通関業を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	倉庫業	運送業	国際貨物取扱業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	2,389,627	5,680,605	2,826,686	10,896,920
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	21,011	21,110	—	42,122
計	2,410,639	5,701,716	2,826,686	10,939,042
セグメント利益	171,544	471,987	238,533	882,065

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	882,065
全社費用（注）	△299,956
四半期連結損益計算書の営業利益	582,109

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。